

【港北区】令和3年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年9月7日 10時00分 ～ 10時55分
場 所	Web会議（港北区役所 4階 1号・2号会議室から発信）
出席者	<p>【出席議員：7名】佐藤祐文議員（座長）、福地茂議員、 大山しょうじ議員、酒井誠議員、 白井正子議員、望月康弘議員、 豊田有希議員</p> <p>【欠席議員：1名】大野トモイ議員</p> <p>【港北区：22名】鵜澤区長、高嶋副区長、 北川福祉保健センター長、 橡木福祉保健センター担当部長、 奥野土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和2年度個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>2 令和3年度個性ある区づくり推進費の予算執行状況について</p> <p>3 令和4年度港北区予算編成の考え方について</p> <p>4 その他 （港北区における新型コロナウイルス感染症の感染状況について）</p>
発言の 要 旨	<p>1 令和2年度個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>2 令和3年度個性ある区づくり推進費の予算執行状況について</p> <p>3 令和4年度港北区予算編成の考え方について （1～3 区長・副区長説明）</p> <p>白井議員： コロナの影響で人が集まって実施できる場面が限られていて、色々工夫されているという説明があったが、特に小さいお子さんを育てている家庭の集まる場がなかなか実施できない中で、虐待の発見のためには、どういう状況で課題を捉えて工夫しているのか、子育て支援に関するところを伺いたい。</p> <p>廣瀬こども家庭支援課長： 一時期、昨年度は赤ちゃん会や地域子育て拠点、広場、活動を中止するというような時期もあったが、現在は親と子の集いの広場や赤ちゃん会等、人数制限をしているという状況ではあるが、感染拡大防止対策に努めながら、全て基本的には事業を継続している。</p>

白井議員：

虐待などの発見件数が、コロナが始まってから、特に学校が休校になったりした場合には数が減ってきているということもあるので、しっかりと行政の目で見、そのようなことが起こらないように、キャッチすることが本当に必要だと思う。工夫されている点について承知したので、引き続きよろしくお願ひしたい。

酒井議員：

今年度の災害に強いまちづくり推進事業について、人が集まれないので、なかなか災害拠点の集いができずに、今年も拠点訓練等やる時期になっていると思う。

地域から言われていることは、去年できなくて今年もできないと、本当に災害が起きたときに、どうしたら良いのだろうかという相談が入ってきている。今後、縮小するなどして、少なくともコロナに対する拠点運営などをやっていかないといけないと思うが、そのあたりについては現状どのようになっているのか、教えていただきたい。

田畑総務課長：

地域防災拠点の訓練については、現在緊急事態宣言中のため、宣言期間中は訓練の実施や対面式の運営委員会の開催について、中止または延期をお願いしている。

緊急事態宣言が終了し、まん延等防止措置重点期間中については、実施項目を限定して必要最小限の人数で実施するようお願いしている。実施項目については、新しい拠点委員の顔合わせや、各自の役割の確認、情報受伝達訓練や、防災備蓄庫内の資材・備品の保管場所の確認や使用ができるかの点検、備蓄食料の確認、避難スペースとして設定している体育館や教室までの経路や、入口の開錠方法の確認などを行うようお願いしている。

まん延等防止措置重点期間が終了した後についても、今年度については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、通常期よりも縮小して実施するようお願いしている。

御指摘のように、コロナ状況下でも災害は起こりうるため、できるだけ地域の皆様に訓練を実施していただきたいと考えているが、感染防止の観点もあるため、現在はこのような形をお願いしている。

酒井議員：

コロナ禍にも災害は起きる可能性があるので、ぜひ拠点の運営委員会の方々と密に相談していただきたいと思いますと思う。

豊田議員：

この上半期に区役所を見ていると、わりと混雑している印象を受ける。マイナンバーカード発行事務があったと思うが、マイナンバー自体はマイナポイントの影響などもあり、非常に活気があり数が多かったと思うが、このピークはまだまだ続きそうなのか、もうピークは過ぎたものと考えてよいのかお伺ひしたい。

堀戸籍課長：

マイナポイントの対象となるマイナンバーカードの申込について、今年の4月末まで国が延長した。

今年の3月、4月はマイナンバーカードの申請数が大変多い状況であり、現在、春先に申請された方の交付を順次行っているという状況。

マイナポイントの事業については、12月末までとなっており、港北区は予約制で感染防止対策を実施しながら交付するよう努めている。12月までには少し落ち着くのではと考えている。

豊田議員：

区役所に行くとき非常に混雑しており、交付するスペースも2階に臨時のスペースを設けているが、あまり就労環境、内部環境が洗練されているとは言い難い状況である。ぜひ職員もしくは庁舎の方々への配慮を、この区づくり推進費の中で少しでもできるのであれば、先にはなると思うが、環境を整えていただければと思う。

佐藤座長：

「その他」について何あるか。

最近のコロナウイルス感染症の発生状況等について
(北川福祉保健センター長から説明)

白井議員：

コロナ陽性者の方に対して、症状に応じた適切な医療がしっかりと届くことが必要と思うが、今話のあった入院の状況のことや在宅医療のこと、オンライン診療をされていると伺ったが、在宅医療がどのような手立てで受けられるようになっているのか、その仕組みなどを教えていただきたい。

市民が安心できるには、そのあたりの情報もいただくと安心できると思うので、区内の情報を教えていただける範囲で、コロナになった方の在宅医療を受けられるシステムがどのようになっているのか教えていただきたい。

北川センター長：

発生届が出たときに、出していただいたクリニックの医師に、保健所からの連絡が滞りがちなこともあるため、3日程度容体確認をお願いしている。その中でお薬の処方や電話での確認、医師からの電話だけでも患者は安心することもある。また、発生届が出された後、患者にパルスオキシメーターを届けているが、その値を毎日LINE、電話、メール等で確認している。そこで仮に低い値になった患者には、民間救急等出して医療機関を受診できる手立てがある。また、ファストドクターを港北区で試験的に取組を始めていて、こちらがうまくいけば18区での展開にもなると思う。このような形で患者の経過を追っているという状況である。

走りながらの対応であり、システムができあがっているとまでは言えないが、このようなやり方で取り組んでいる。

望月議員：

市長選について、緊急事態宣言下だったが、投票率も上がって、また投票所ではコロナ対策も施す中で運営していたと思う。開票作業も含めて、本当に心が温まる思い。

そんな中で箕輪小学校について、投票所の場所がわかりにくかったということもあったのかもしれないが、非常に長蛇の列になり待ち時間も長く、中には投票せずに帰ってしまった人もいたということである。過去に比べて投票率が上がった

	<p>たこともあり、コロナ対策もあったであろうことから、非常に大変なところがあったのだろうなと思った。</p> <p>それから期日前投票について、私も期日前投票に行ったので、やはり投票する方が多く、期日前投票所の運営も非常に大変だったと思う。</p> <p>衆院選が控えているので、緊急事態宣言下になるかはわからないが、コロナ禍での投票という形になるので、今回のことも踏まえて対策が考えられるところについて、スムーズに投票が進められるよう対応を考えてほしい。</p> <p>田畑総務課長：</p> <p>箕輪小学校では準備不足もありお待たせしてしまった。大変申し訳ございません。</p> <p>箕輪小学校は今回初めて使うということで、事前の調整が不足していたところがあった。長い列ができてしまった要因は、箕輪小学校の投票所の体育館が2階にあり、2階に上がる時エレベーターで上がる動線を想定していたが、エレベーターの輸送能力が足りず、有権者が1万人を超える箕輪小学校では、そのような動線では足りなかった。長い列ができたということが本部にも連絡が入り、本部員が応援に駆け付け、階段も使って投票所に上がっていただくという動線に変え、動線を変えた結果、徐々に長い列も解消していった。</p> <p>事前に選管職員も動線を確認していればこのような事態にもならなかったもので、次回の衆議院選挙の際にはこのようなことがないようにしたいと思う。</p> <p>また期日前投票の環境でも感染症対策として従事者がマスクをきちんとしていなかった、鼻を出していたという投書もいただいており、今回は感染症対策を徹底し、従事職員にもマスクの着用の仕方や手指消毒の徹底をしていきたいと思う。</p> <p>先生方からも何かお気づきの点があれば、総務課に意見をお寄せいただきたい。</p>
<p>備 考</p>	